



全国初、美波町でワンコイン浸水センサ実証実験開始

～官民連携による浸水状況の把握に向けて～

国土交通省では、浸水の危険性がある地域に、浸水センサを多数設置し、リアルタイムに状況を把握する実証実験を官民連携により行っています。

このたび、全国に先駆けて、美波町（徳島県海部郡）において、浸水センサの設置が完了し、実証実験が開始されました。

○実証実験の目的

近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、面的に浸水の状況をいち早く把握し、迅速な災害対応を行うことが重要となっています。

そのため、国・自治体・民間企業等の様々な関係者が「小型・長寿命・低コスト」のワンコイン浸水センサを多数設置し、浸水状況を面的にリアルタイムで把握する仕組みの構築に向けて、センサの特性や情報共有の有効性等を実証するものです。（別添資料－１参照）

○美波町（徳島県海部郡）での実証実験

公募でモデル地区に決定した美波町では、２種類の浸水センサを町内各地の６箇所に３９個設置し、実証実験を行います。（別添資料－２参照）

本実証実験参加企業であるニタコンサルタント（株）は美波町と連携し、独自の浸水センサの開発にこれまで取り組んできており、本実証実験では独自の浸水センサの設置も行っています。

また、美波町以外の全国のモデル地区においても、現在、浸水センサの設置を進めています。

現在、運用開始に向けて、浸水データの共有方法や効率的な管理体制の構築などを、実証実験参加者と連携して進めています。

（参考）これまでの国土交通省記者発表資料等は以下WEB サイトに掲載しています。

<https://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/wankoinsensa/index.html>

令和4年8月26日

国土交通省 四国地方整備局

本施策は、四国広域地方計画「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

－問い合わせ先－

国土交通省四国地方整備局 河川部 水災害予報センター

水災害予報センター長 : 片井 良英 [内線:3851]

○水災害対策専門官 : 石川 洋 [内線:3852] (○主な問合せ先)

TEL : 087-811-8320

浸水被害の把握

ヘリによる調査

リアルタイム性

- ・悪天候時に調査不可
- ・夜間調査不可



痕跡調査

機動力

- ・広範囲の調査不可
- ・多数の人材確保
- ・専門の技術者が必要



【既存の技術】

ワンコイン浸水センサ

センサの特徴

小型、長寿命かつ低コストで、堤防や流域内に多数の設置が可能な浸水センサ



- ・小型
- ・低コスト
- ・長寿命

官民連携による浸水域把握イメージ

堤防の越水・決壊などの状況や、地域における浸水状況の速やかな把握のため、浸水センサを企業や地方自治体等との連携のもと設置し、情報を収集する仕組みを構築



【技術開発】

活用イメージ

【災害時】

- ・早期の人員配置
- （道路冠水による通行止め
避難所の開設 等
- ・ポンプ車配置の検討

【復旧時】

- ・罹災証明（自治体等）の簡素化・迅速化
- ・保険の早期支払い
- ・災害復旧の早期対応

など

スケジュール

令和3年11月～

- ・実証実験準備会合を開催
- ・実証実験に向けてセンサの仕様や実施内容を検討・確定

令和4年3月～

- ・実証実験参加企業の公募

令和4年出水期以降～

- ・モデル自治体において、国・自治体・民間企業等にてセンサを設置し、実証実験を開始
- ・必要に応じ、エリアを拡大

（実証実験モデル自治体）

- 愛知県岡崎市
- 兵庫県加古川市
- 兵庫県南あわじ市
- 徳島県美波町
- 佐賀県神埼市

美波町(徳島県)での浸水センサ設置状況

- モデル地区である美波町では、自治体及び民間企業により、2種類の浸水センサを過去に浸水被害があった町内各地の6箇所に39個設置し、浸水状況を迅速に把握するために実証実験を行っています。

美波町(徳島県)での設置状況



(設置前のケースへの収納状況)



※ ○ は浸水センサ設置範囲



②日和佐中学校裏

①美波町文化交流施設